

世界を変える。
自分を変える。



チーム女川 (宮城県女川町)

社会貢献 の場



面瀬学習支援 (宮城県気仙沼市)



ふらっと真備 (岡山県真備町)

2020

volunteer center

学び の場



成長 の場



チーム防災 (多摩)



はまぎくのつぼみ (岩手県宮古市)



チームくまもと (熊本県西原村)

価値創造 の場



りこボラ! (後樂園)

ボランティアで、



中央大学 ボランティアセンター

ボランティアセンター公認学生団体パンフレット 2020



メールマガジンに登録しよう！

学内外のボランティア情報をお届けします。ボランティアセンターのHPまたは左QRコードから登録できます。
<http://www.chuo-u.ac.jp/usr/volunteer/candidate/can03/>
登録アドレスは大学からのメール (~@g.chuo-u.ac.jp) が届くよう設定して下さい。

INDEX

P2: ボランティアセンター紹介

専門のコーディネーターが学内外のボランティア情報を集め、ボランティアをしたい学生のサポートを行っています！それぞれに合った活動を探すためのイベントや、活動に必要な知識やスキルを学ぶ講座も開催します！

P4: 地域のボランティア活動紹介

多摩キャンパス周辺のボランティア活動について紹介します。

P4: ボランティアセンター公認学生団体紹介

被災地やキャンパス周辺地域で活動する7団体を紹介します。

P8: 年間スケジュール表

ボランティアで、世界を変える。自分を変える。

多くの中央大学生が東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨水害の被災地、多摩・後樂園キャンパス周辺地域、また海外に飛び出し世界中でボランティア活動を行っています。以下のような想いでボランティア活動に取り組みたいと思っている皆さんを、ボランティアセンターは応援します！

■ 関心あるテーマについて社会貢献したい。現場で学びたい。

被災地支援や防災、人口減少、子どもの貧困、環境問題、国際的な紛争と難民問題など、現代社会の様々な問題をボランティア活動を通して学ぶことができます。ボランティア活動は中央大学のユニバーシティ・メッセージ「行動する知性。」を育む実践の場です。

■ 同じ目的に向かって取り組む仲間が欲しい。いろいろな人に出会いたい。

大学生の仲間はサークル活動で、学外の人とはアルバイトで出会うことができますが、ボランティア活動では課題解決や新たな価値創造のため、大学生同士や様々な立場の社会人(地域住民・行政・企業など)と対等なパートナーシップで活動する経験ができます。それこそが、ボランティア活動ならではの魅力です。

■ キャリア形成のステップとして社会経験を積み自分を成長させたい。

就職活動の際に、ボランティア活動の動機やその過程で自分がどう成長したのか、どんな成果があったのかを説明することで、「主体性」や「社会貢献意欲」をアピールできます。また活動を通して身につく「傾聴」などのコミュニケーション能力や、リーダーシップもキャリア形成に役立ちます。

中央大学ボランティアセンター(CVC)を利用しよう！

- ① 「そもそも、どんなボランティア活動があるのか分からない。どうやって探したらいいんだろう？」
- ② 「海外ボランティアをしてみたいけど、どこにどうやって申し込んだらいいの？費用はどれくらい？」
- ③ 「ボランティアしてみたいけど、不安なことがある」

という方は、ぜひボランティアセンターにお越しください。

■ コーディネーターに相談してみよう！

ボランティアセンターには、専門のコーディネーターがいます。ボランティア情報の提供をはじめ、ボランティアの心得や活動に対する不安など何でも相談に応じます。

■ メールマガジンに登録しよう！

学内外のボランティア情報をいち早くお届けします。登録を希望する方は、ボランティアセンターのHPから登録してください。右のQRコードからも登録できます。



<http://www.chuo-u.ac.jp/usr/volunteer/candidate/can03/>

■ 情報を探して申し込んでみよう！

ボランティアセンターでは、様々な市民団体や施設・NPO等からのボランティア情報を、探しやすいようにファイルに整理しています。おすすめ情報は掲示しています。やってみたい活動をぜひ気軽に探しに来てください。

■ 必ずボランティア保険に加入しよう！

ボランティア活動の際、自分がケガをしたり相手にケガをさせる可能性があります。また家屋や道具を破損する場合があります。そうした事態に備えるために、必ずボランティア保険に加入しましょう。

ボランティアセンターのプログラムで自分にあった活動に出会おう!

ボランティアセンターでは、以下のような様々なプログラムを開催しています。参加して、自分にあったボランティア活動を見つけましょう!

■ イベントや講座で自分の興味にあったボランティアを探そう!

自分にあった活動に出会えるイベント盛りだくさん

お昼休みにボランティアについて、カフェにいるように気軽に話せる場が「ボラカフェ」。様々なテーマについてランチしながら話しましょう! また学外のボランティア団体や NPO の活動を紹介する「ボランティアフェア」や、夏休みや春休み等の長期休みを利用したボランティアを紹介する「ボランティア説明会」等も開催する予定です!



お昼休み開催のボラカフェ

ボランティアに関する課題やスキルを学ぶ講座

「地域 × ボランティア」「傾聴講座」「災害救援ボランティア講座」など、ボランティアで向き合う課題や、活動に必要なスキルを学ぶ様々な講座を企画しています。



地域を巡るバスツアーで田植体験

■ 身近なところで気軽にボランティアを始めてみよう

クリーン作戦は、大学構内や周辺のゴミ拾い活動。「ゴミを拾うことで目に見えて地域が綺麗になっていく手応えが感じられる」「一緒にゴミを拾うことで仲間と達成感が味わえる」など、楽しさが口コミで広がり、少しずつ仲間が増えています。地域の皆さんと交流しながら実施したり、学年学部を越えた学生同士の交流や、地域の方々との新たな出会いも魅力のひとつです。

▼ 開催日 ▼

多摩キャンパスでは年2回(春と秋)実施。後楽園キャンパスでは6月実施予定。不定期で昼休み(ミニッツ)にも実施。

◎開催日時情報は、メールリストや掲示版、Facebook、Twitterなどでお知らせします。



後楽園でのクリーン作戦



多摩でのクリーン大作戦・春の陣

学生ボランティア団体に参加してみよう!

継続的に活動に取り組むには、学生ボランティア団体に入るのがおすすめです。中央大学ではボランティアセンターが公認する「公認学生団体」があり、東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨の被災地、キャンパス周辺地域で活動しています。また、その他のボランティアサークルも多数あります。自分にあった団体を見つけたい方は、ボランティアセンターにご相談ください。

P4からボランティアセンター公認学生団体を紹介!

大学生が地域の力に!

地域ボランティアで地域の魅力を発見しよう!

キャンパス周辺地域でボランティア活動をやってみませんか? 環境保全、農作業をはじめとする活動から、子どもやお年寄り、障がいのある方々との活動など、大学生の力が必要とされるボランティアもいろいろあります。ぜひ一緒に地域を盛り上げませんか?



①ユギ里山

東京都が指定する「堀之内里山保全地域」で里山の風景を守るべく、農作業のお手伝いをしています。



②せせらぎ農園

多世代・様々な方々が好きな時に集って農作業を楽しむ「コミュニティ・ガーデン」で農作業を行います。



③大豆プロジェクト

国産大豆を学校給食に提供するため、日野市役所や地域の皆さんと一緒に大豆を育てるお手伝いをしています。



④落川交流センター

「防災活動を日常に」と、地域コミュニティに根付いた炊き出し訓練を毎月行っている地域づくりの拠点です。



被災地 東北

はまぎくのつぼみ

■ 理念

私たち「はまぎくのつぼみ」は岩手県宮古市を対象に活動をおこなっています。今年で震災から9年が過ぎインフラ面についての復興が着々と進んでいる中で、被災地の住民の中にはいまだに心の傷を抱えている方もいます。2013年の団体設立からこれまで、私たちは「つながりの創造、継続的支援」という理念を掲げて宮古市内で活動を行ってきました。しかし、東日本大震災の被災地も転換期を迎えています。現地の方々の声に応えるためには、支援する側の変化も必要です。私たちと一緒に、これからの被災地支援に何ができるかを考えてみませんか。

代表者より一言

被災地の状況は常に変化しています。一度この目で被災地を見てみたい! 人の役に立ってみたい! そんな方はぜひ私たちと一緒に活動しましょう!

■ 団体構成 (2020.4.1時点)

メンバー数	30人 (4年生7人、3年生8人、2年生15人)
活動場所	岩手県宮古市、中央大学など
活動時期	現地への訪問: 春、夏の長期休み 都内での活動: 2カ月に1度程度
ミーティング	原則週に1度 (増減の可能性有)

■ 団体連絡先

E-mail join.hamagiku@gmail.com Twitter [@chuomiyako](https://twitter.com/chuomiyako) Facebook [@chuohamagiku](https://www.facebook.com/chuohamagiku)

持続的支援と新しいボランティア

■ 活動内容

メインの活動は春、夏の長期休みを使い、実際に岩手県宮古市を訪問してボランティア活動を行います。授業のある期間は定期的にみんなで集まりミーティングを行い、さまざまな活動を行うための準備をします。

〈これまでの現地での活動〉

津軽石地区や鉾ヶ崎地区でのコミュニティ支援 / 学童保育支援 / 田老「学ぶ防災ツアー」 / 企業訪問

〈東京での活動〉

東北の商品を扱った物産展 / SNS を用いた情報発信



物産展で扱う企業さんへヒアリング



八王子の福祉施設で物産展



災害公営住宅にお住まいの方々との交流会

被災地 東北

面瀬学習支援

■ 理念

「学校とも家庭とも違う、子どもたちのための第3の居場所をひらく」
 面瀬学習支援は、復興のため大人が慌ただしく過ごすようになった中で、地域の方の「子どもが子どもらしくなくなった」という言葉から発足しました。震災から9年が経過した今だからこそ、その影響は見えづらく複雑化しています。先生や親という「教える・育てる」立場でもなく、友達のような「仲間・対等」な立場でもない、お兄さん・お姉さんのような「ナナメの関係」を築くことで、私たちのひらく多学年交流の場が、子どもの本音を拾う居場所となることを目指します。

代表者より一言

子どもが好きな方大歓迎！
 私たちと一緒に子どもが第1に尊重され、のびのび過ごせる場をつくりましょう！！

● 団体構成 (2020.4.1時点)

メンバー数	41人 (4年生10人、3年生10人、2年生21人)
活動場所	宮城県気仙沼市面瀬地区
活動時期	年3回(春・夏・冬) 長期休暇中に1週間程度
ミーティング	週1~2回

● 団体連絡先

E-mail omose.chuo.v@gmail.com Twitter @Chuo_omose



ふれあい農園では子どもがたくさん！



学生の企画に子どもは大喜び



子どもたちと一緒に過ごす自治会館

共に学び、共に描く、ふるさとの未来図

■ 活動内容

私たちは宮城県気仙沼市面瀬地区の小学生と中高生を対象に、宿題指導と自由遊び、企画を中心として活動しています。長期休暇中に約1週間現地に滞在し、活動ごとに延べ250~300人の子どもたちが参加してくれます。また、週に1回程度、私たちのひらく場が子どもたちみんなにとって過ごしやすいものになるよう、メンバー全員でミーティングを重ねています。小学校の先生、現地NPO等地域の方にご協力やアドバイスをいただきながら、子どもたちと地域の様子、その変化に合わせ、子どもの気持ちに寄り添う団体となるように努めています。

被災地 東北

チーム女川

■ 理念

● 継続的に交流促進の場を設け、住民と共に支え合いの輪を築く
 震災後、女川町では過疎化と高齢化が一気に進み、それとともに震災前の地域コミュニティが崩壊してしまっているという課題があります。私たちがイベントを開催することによってその地区のコミュニティの活性化を図ることが目標です。
 ● 住民の人の声に寄り添い、女川の今を発信する
 コミュニティ支援活動においては、住民の声に耳を傾けニーズをくみ取ったうえで活動を行い、学生と住民が相互に協力し合って形作っていきたいと考えています。また、物産展活動を通して東京の人に女川の現状について知ってもらい、少しでも女川の魅力を伝えられればと思います。

代表者より一言

チーム女川はメンバーのアイデアとやる気を最大限に生かします。大学で新しいことに挑戦したい方、大歓迎です！

● 団体構成 (2020.4.1時点)

メンバー数	17人 (4年生2人、3年生7人、2年生8人)
活動場所	宮城県牡鹿郡女川町
活動時期	春・夏の長期休みなど年3回ほど
ミーティング	週1日

● 団体連絡先

E-mail chuo.teamonagawa@gmail.com Twitter @chuo_onagawa Facebook @teamonagawa

女川に寄り添い、共に歩む

■ 活動内容

私たちの現地での主な活動は、災害公営住宅にお住まいの方を対象にしたコミュニティ支援活動です。集会所でイベントを開いて一緒に手芸をしたり、ハンドマッサージをしながらお話を聞いたりといった活動をしています。東京での活動としては、女川町観光協会が都内のお祭りや物産展に出店する際のお手伝いや、白門祭での女川の郷土料理の販売を通して、女川町をより多くの人に発信する活動を行っています。



物産展で扱う企業さんへのヒアリング



住民の皆さんとの交流を楽しみます



集会所でイベント後の集合写真

被災地 岡山

ふらっと真備

■ 理念

ふらっと真備は、西日本豪雨災害で被災した岡山県倉敷市真備町を拠点にした団体です。多摩と理工の文理混合メンバーで活動を行っています。「支え合いの真備を共に育む」という理念のもと、真備の住民の方と住民の方同士の人間関係、住民の方と居住環境全体の地域関係の二つの「支え合い」の関係を、住民の方と学生が「共に」協力して築き上げ、災害前よりも強いコミュニティを創造することを目標としています。最終段階として、学生が抜けても真備の住民の方のみでコミュニティを継続していけるような地域の自立を目指しています。

代表者より一言

やりがいのある活動がしたい方、大歓迎です！一緒に支え合いの真備をつくっていきましょう！

● 団体構成 (2020.4.1時点)

メンバー数	23人 (4年生5人、3年生4人、2年生14人)
活動場所	岡山県倉敷市真備町
活動時期	春、夏、冬の長期休み期間など
ミーティング	週1~2回

● 団体連絡先

E-mail chuo.flatmabi@gmail.com Twitter @flatmabi



住民さんのお話を伺います

支え合いの真備を共に育む

■ 活動内容

現地では、主に真備の四つの仮設住宅にて、戸別訪問とイベント企画を通じたコミュニティ支援活動を行っています。戸別訪問では、仮設住宅一軒一軒の住民の方の傾聴を行い、住民の方の現状を把握するとともに、困っていることや心配事を話してもらうことで少しでも不安を和らげることが出来るように努めています。イベント企画では、真備にちなんだものや季節に合ったイベントを集会所にて開催し、住民の方同士を結び付けたり、集会所利用の活性化を促すことが出来るように努めています。また、地域に密着した現地の関係者の方からのヒアリングも行います。



仮設住宅集会所でのたこ焼きパーティー

一軒一軒住民さんを戸別訪問

被災地 熊本

チームくまもと

■ 理念

「人・地域・暮らしに焦点を当て、全体の中に個の居場所を作る」
私たちは平成28年4月の熊本地震で深刻な被害を受けた熊本県阿蘇郡西原村の小森仮設団地、山西公営住宅と河原公営住宅で活動しています。昨年、入居者が減少したことにより小森仮設団地が集約されました。仮設団地には期限がありますが公共事業などによりまだ移れない方もいらっしゃる一方で、震災から4年が経ち、被災者としてではなく前に歩んでいる方も多くなったように感じます。現段階では来年の夏に仮設団地が終了する予定となっており、今後は主に現在も住んでいらっしゃる方々の見守り活動を行って行きたいと考えております。

代表者より一言

自分たちが活動を楽しむことで西原村の方たちも楽しんでくださると思います。興味があれば連絡ください！

● 団体構成 (2020.4.1時点)

メンバー数	24人 (4年生5人、3年生4人、2年生15人)
活動場所	熊本県阿蘇郡西原村
活動時期	夏・冬・春の長期休暇
ミーティング	中央大学多摩キャンパスにて週3日

● 団体連絡先

E-mail chuo.team.kumamoto@gmail.com Twitter @CV_kumamoto

私たちがくまもとの為に出来ることを、いまここから

■ 活動内容

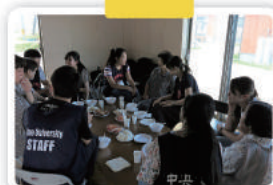
現地支援者である社会福祉協議会(西原村地域支え合いセンター)の方々や自治会長、他の被災地支援団体の方たちから継続的に小森仮設団地や山西公営住宅、河原公営住宅の方々の様子を伺い、それらにアプローチするためのイベント企画、訪問活動などを行っています。仮設団地の入居者数の減少や仮設団地の規模の縮小により、閑散としたような雰囲気を感じ心細く思っている方もいらっしゃいます。私たち学生が定期的に訪れることで、少しでも明るい気持ちになり明日からの活力になるような活動を心がけています。



お世話になっている民泊の片山さん宅



出発前の集合写真



集会所でのイベントで住民さんと交流

多摩

チーム防災

■ 理念

「災害時に生き延びる、そして災害後に安心して暮らす」という最終目標に向けて、チーム防災は「防災活動を通じて学び合い・活かし合い、自助共助の力を高め合う」という理念に沿って活動しています。

東日本大震災の被災地にボランティアに行っていた先輩方が、東京での防災活動の必要性を感じこの団体が発足されました。その意思を受け継ぎ、子どもから自治体の方まで幅広い年代の方と触れ合っ、自分の住む地域で起こり得る災害について一緒に考え、一緒に備えていきます。

代表者より一言

「防災」を通じて新しい自分に出会ってみませんか。仲間と地域との繋がりが、新しい可能性への一歩です。

■ 団体構成 (2020.4.1時点)

メンバー数	17人 (4年生4人、3年生4人、2年生9人)
活動場所	主に日野市
活動時期	通年
ミーティング	週に二回、お昼休みの時間帯

■ 団体連絡先

E-mail teambosai.chuo@gmail.com Twitter [@teambosai](https://twitter.com/teambosai)



チーム防災が開発した防災百人一首



防災ワークショップ
カエルキャラバンの様子



子ども震ヶ関デイで子どもたちと防災を学びます

「学生 × 地域 × 防災」で 自助・共助の力を高める

■ 活動内容

主にチーム防災は日野市の地域を中心に活動しています。日野市の自治体の方々と協力したり、日野市にある小中学校に行きそこで防災を絡めたゲームや防災地にちなんだ講座を実施したりと、子どもから大人まで多くの方と関わりを持ち、防災という知識を広めています。また、日野市以外でも依頼をくださった方々のところで活動させて頂いており、地域外での活動も徐々に増えつつあります。これからは、上記のような活動の他に、自分たちで企画を考えて地域にアプローチし、活動の幅を広げていければと思っています。

後楽園

りこボラ！

■ 理念

「りこボラ！」は「理工でもボランティアを日常に！」の略称から名づけられました。理系学生の中ではボランティア活動へ最初から興味を持っている人は少ないかもしれませんが、しかし理系だからこそ、地域や社会の問題に論理的・科学的に取り組み、貢献できることはきっとあるはず。また、ボランティア活動をしたときに得られる気付きや充実感、自分だけの思い出で終わらせることは勿体ないこと。人と共有することで、考えをさらに深めることや新たな気付きを獲得することもできます。その気付きは自分の次の行動や活動に繋がるでしょう。そしてまた新たな経験をする事で新たな気付きが得られます。理系ならではの活動を目指し、経験と学びのサイクルを作ること。この考えを胸に、多くの方の支えの元で、活動を続けていきます。

代表者より一言

誰でも、いつでも、どこでも始められるのがボランティアの魅力です！大学生になった今、始めてみませんか？

■ 団体構成 (2020.4.1時点)

メンバー数	23人 (4年生3人、3年生3人、2年生17人)
活動場所	中央大学後楽園キャンパス周辺
活動時期	通年
ミーティング	週2回(定例)、状況に応じて

■ 団体連絡先

E-mail chuo.riko.volunteers@gmail.com Twitter [@C_RikoVolunteer](https://twitter.com/C_RikoVolunteer) Facebook [@chuo.rikovola](https://www.facebook.com/chuo.rikovola)

webページ <https://sites.google.com/view/rikobora/>



江ノ島でビーチクリーン！



教職員と一緒に
学内での防災企画



理工白門祭ではボランティアを紹介！

理系でも ボランティアを日常に！

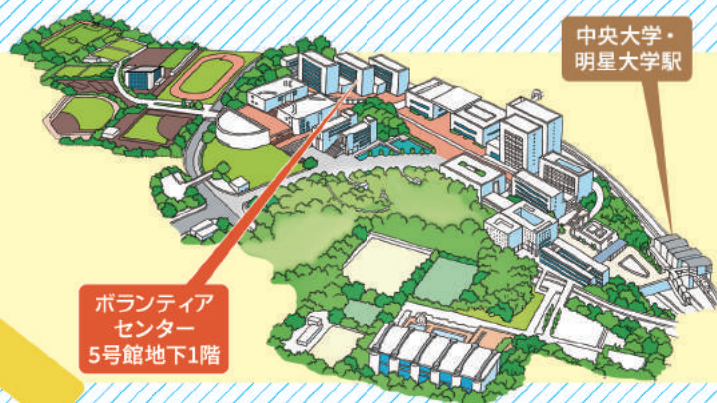
■ 活動内容

私たちの主な活動は以下の4つです。

- ① ボラカフェ…ボランティアで得た経験の発信と共有の場の運営をします。
- ② イベント企画…ボランティア初心者が参加しやすいゴミ拾いなどを企画し、活動を行います。
- ③ ボランティア活動と紹介…大人の方や他大学生関わりながら様々な活動を行っています。
- ④ ボランティアセンターの学生スタッフとしての役割…多摩にあるボランティアセンターと後楽園キャンパス生の架け橋を務めています。

中央大学ボランティアセンター 2020年度 [年間スケジュール表] (予定)

実施月	イベント・講座	学内での活動	地域での活動	被災地での活動
通年	ボラカフェ (多摩・後楽園)		防災・まちづくり・子ども・福祉・農業など様々	
4月				・公認学生団体説明会
5月	・ボランティア講座	・クリーン大作戦・春の陣	・「ひの新選組まつり」 (まちづくり)	・新入生スタディツアー
6月	・あなたのキャリアにつなげる！ 「地域×ボランティア」	・クリーン大作戦(後楽園) ・クリーン作戦ミニッツ	・「みんなの遊・友ランド」 (福祉)	・新入生スタディツアー
7月	・傾聴講座	・クリーン作戦ミニッツ		・公認学生団体決起集会
8月				・夏季ボランティア
9月	・災害救援ボランティア講座			・夏季ボランティア ・夏季ボランティア振り返り
10月	・ボランティアWeek (写真展・物産展・活動報告会)	・クリーン作戦ミニッツ	・「日野市まちづくり市民フェア」(まちづくり)	
11月	・白門祭	・クリーン大作戦・秋の陣	・防災イベント	
12月		・クリーン作戦ミニッツ		・冬季ボランティア
1月		・クリーン作戦ミニッツ		
2月	・ボランティア講座		・防災イベント ・多摩の他大学と合同イベント	・春季ボランティア
3月				・春季ボランティア



学生へのボランティア募集をご希望の方へ

ボランティアセンターでは、NPOや市民団体などからのボランティア募集や情報の提供を受け付けております。学生への呼びかけを希望される場合には、事前に「団体登録」のお手続きをお願いいたします。登録方法はHPをご覧ください。どうか、ボランティアセンターへご連絡ください。



問合せ先 中央大学ボランティアセンター

場所：多摩キャンパス5号館地下1階(入口は6号館地下1階) 開室時間：平日10:00~17:00 TEL：042-674-3487 FAX：042-674-3469
E-mail：chuo-volunteer-grp@g.chuo-u.ac.jp URL：http://www.chuo-u.ac.jp/usr/volunteer/
Facebook: @chuovolunteercenter Twitter：@ChuoVolunteer